

## 第3回社会福祉専門分科会における意見

### ① 施設継続を求める意見

- 利用料金を若干値上げしても、施設を存続してほしい。ただ、費用対効果などから存続が難しいようであれば、どこかの施設と提携することもやむを得ない。
- どの程度の利用者がいれば、保養所として成り立つのか分析が必要であり、施設のPR次第では、多くの市民が利用するのではないかと。また、多少の値上げは仕方がないと思うので、値上げする中で施設を継続し、市民にPRするなど、施設を利用してもらえる方法を模索してはどうか。
- 建て替えではなく、一部屋リフォームし、イベントができるようなスペースをつくって、様々な新しい企画を実施することで、引き続き運営することが可能ではないか。なお、一般的に考えて、利用料金が安すぎると思うので、多少の値上げは良いと考える。

## 第3回社会福祉専門分科会における意見

### ② 施設廃止を求める意見

- アンケート調査において「保養所は廃止」、「公費を投じて保養所や保養事業を実施する必要はない」と回答した方が合わせて6割いるということは無視できない。また、1日あたり10万円を超える税金が投入されていること、今後老朽化した施設を維持していくためには、さらなる税金の投入が必要なことから、洗心荘は廃止の方向で良いと考えている。ただし、廃止にあたっては、これまでの施設利用者に対し、民間施設を代替施設として安い料金で利用できるよう配慮した方がいいのではないか。なお、代替施設の利用を考える際には、幅広い年代や世代に効果が行き渡る方がよい。
- 検討のポイントである利用料金の値上げの容認、利用者以外の市民からの理解、世代間の公平性などについて考えたところ、全て容認することが難しいと思う。ただし、洗心荘は今までの利用者から高い評価を得ていることから、市による代替施設の指定や、その施設への利用助成など、何かしらの形で保養事業を存続していただければありがたい。

## 第3回社会福祉専門分科会における意見

- 検討のポイントを見たとき、利用料金の値上げを容認した場合、他の施設との競争力がなくなると感じる。また、利用者以外の市民からの理解や世代間の公平性については、完全に理解が得られるものではないと思う。以上のことから、施設を維持しないと考えてもよいのではないか。ただし、これまでの利用者が寂しい気持ちにならないよう、進めていただきたい。
- 施設運営に多くの公費が充当されており、また今後、老朽化に伴い施設を新しくした場合、利用料金の値上げやさらなる公費の投入が見込まれることから、洗心荘は負の施設となり、今後、施設を存続していくことが厳しいと思われる。ただし、これまでの利用者に対し、利用助成の継続や別に利用できる保養施設の提供について、検討いただけるとありがたい。
- 利用者が少ない上、費用もかかることを考えると、やはり市が公費を出して運営することは難しいと思われる。ただし、これまで洗心荘を利用してきた人たちが、今後も洗心荘を利用したときと同じような気持ちで保養施設を利用できるような方策を考えてほしい。

## 第3回社会福祉専門分科会における意見

- 施設を運営する上で、若い世代に負担を押しつけるというのは、さすがに気が引けるところがある。シニア世代にはいつまでも元気でいてほしいという思いもあるし、市民が安く施設を利用することができれば良いと考えるものの、現実的には、これ以上利用者負担を求めることが厳しいと思う。そのため、複数の民間施設と協定を結び、低料金で施設を利用できる方法を検討するなど、保養事業を存続させる形の方が望ましいと感じている。
- 1日の利用料金の収入に対して、1日の負担金額が予想以上に大きい。また、開設時と保養の考え方が変わり、多様化している。さらに、多くの市民が利用できる施設へリニューアルすることは、市民にさらなる負担を生じさせることになり難しい。地域には民間の施設がたくさんあることから、民間施設を安く利用できるチケットの配付や利用料の補助など、既存の施設を利用しながら、多くの市民がメリットを得られる方が良い。